

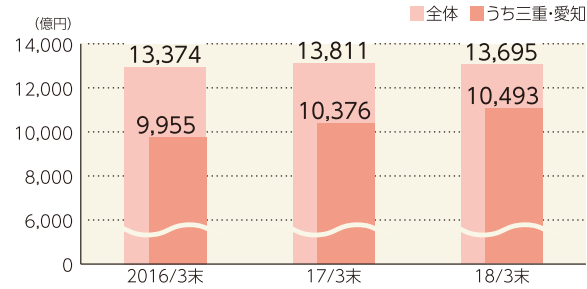
業績ハイライト



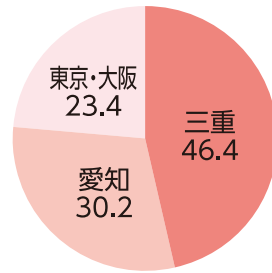
貸出金残高

1兆3,695億円

貸出金は、前年比116億円(0.8%)減少しました。地元三重・愛知では、事業性貸金を中心に前年比117億円(1.1%)増加しました。

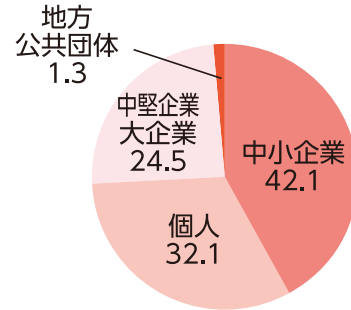


地域別 (%)



(2018年3月末)

貸出先別 (%)

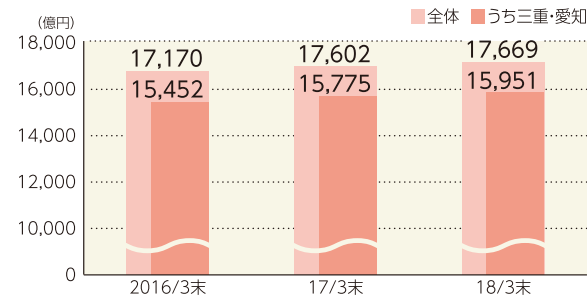


(2018年3月末)

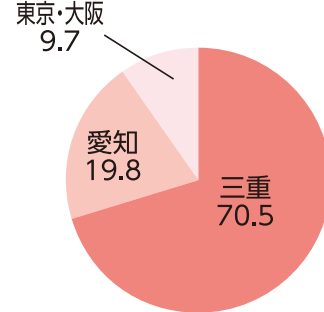
預金・譲渡性預金残高

1兆7,669億円

預金・譲渡性預金は、地元預金を中心に増加し、前年比67億円(0.3%)増加しました。地元三重・愛知では、前年比175億円(1.1%)増加しました。

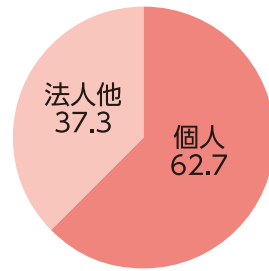


地域別 (%)



(2018年3月末)

預金者別 (%)

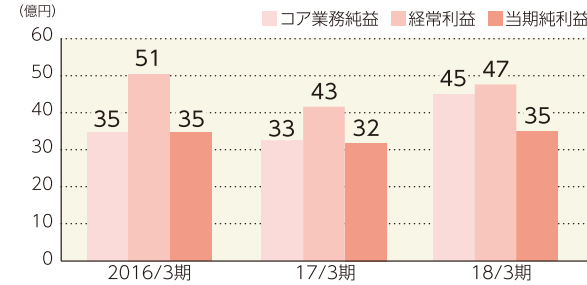


(2018年3月末)

利益

コア業務純益 45億円 経常利益 47億円 当期純利益 35億円

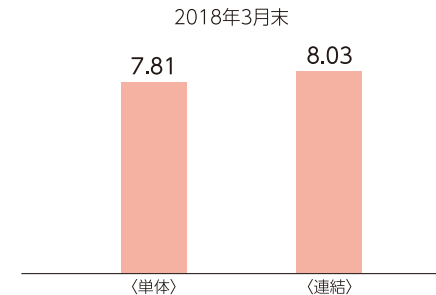
法人向けのソリューション手数料の増加、預金等支払利息の減少などから、コア業務純益、経常利益、当期純利益はそれぞれ前期比増益となりました。



自己資本比率(国内基準)

7.81% (単体) 8.03% (連結)

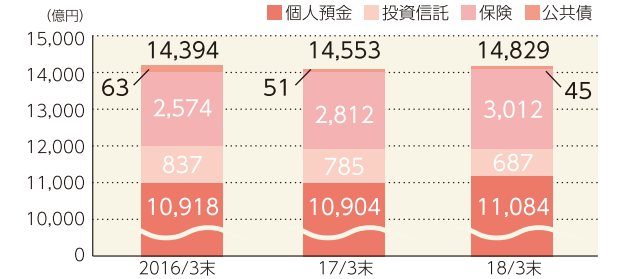
自己資本比率は、単体で7.81%、連結で8.03%となり、求められる水準を大きく上回っています。



個人預かり資産残高

1兆4,829億円

個人預かり資産は、保険や個人預金を中心に残高を伸ばし、前年比276億円(1.8%)増加しました。



不良債権比率

1.23%

金融再生法に基づく開示債権は172億円、総与信に対する比率は1.23%と資産の健全性は引き続き高い水準を維持しています。

